

テーマ	芦屋市の新たな行財政改革について
-----	------------------

日時	令和2年10月17日(土) 17:00~18:30 まで
場所	高浜町ライフサポートステーション
参加者	15名
行政出席者	いとう市長, 佐藤副市長, 福岡教育長

意見交換の概要は、次のとおりです。

★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【⇒赤字】で表示しています。

★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況と異なるものもあります。

【ご質問・ご意見等】	
1	<p>(質問・ご意見) 行政改革と財政改革を分けて進める方が市民にとってわかりやすい。ICT導入でどう変革するのか具体的に教えてほしい。</p> <p>(市からの説明・回答) 仕事の仕方と財政は関わりがあるため、一緒に考えていきます。ICTの活用では、例えば保育所の申込みの定数作業等でRPAを活用していきたいと考えています。特に、残業時間が多い部署から進めてまいります。人が必要な作業と機械化とのすみ分けを考えていきます。 ⇒業務効率化で短縮できた作業時間は市民サービスの向上や職員の業務対応能力の向上などに充てていきたいと考えています。</p>
2	<p>(質問・ご意見) ICTやRPA, AI等の英語表記がわかりづらい。日本語で伝えてほしい。</p> <p>(市からの説明・回答) 通信技術やコンピュータを使って能率よく計算することをIT, 人工知能がAI, 自動化がRPAです。</p>

3	<p>(質問・ご意見)</p> <p>ICTを進めるにあたり、専門的な知識を持つ職員の確保はどうするのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>専門性を持った職員がおりますので、現在、時間を見つけて庁内研修を実施しています。研修は民間企業と連携して実施する場合や職員のみで研修を行う場合もあります。</p>
4	<p>(質問・ご意見)</p> <p>行財政改革で具体的に何をやる予定なのか、先の20年に向けて直近5年の改革を伺いたい。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>平成29年から、行政改革の取組においては多様な主体との連携や創発型の場の設定により柔軟な発想で課題を探索できる組織づくりや人材育成の機会を創出してきました。具体的な取組として、指定管理者制度導入以外の公共施設の維持管理は従来所管課職員が行っていましたが、複数の施設を一民間事業者に包括的に委託することで、安全・安心の向上、事務の効率化、対応の迅速性等が図られています。</p> <p>今後は、道路や街路樹の包括管理や、公共施設の最適化における統廃合等による施設総量の縮減も進めていきます。</p>
5	<p>(質問・ご意見)</p> <p>阪神間の中でも高齢化が進んでいる芦屋市で、公共施設の最適化とは具体的にどのようなものなのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>芦屋は公共施設の一人あたりの面積が全国的に見て4.2平米と少し広めに持っていますので、その面積を減らすような動きになります。ただ単に減らすのではなく、芦屋市公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点をもって、公共施設の統廃合・複合化等を進めることで施設の総量を縮減するものです。</p> <p>⇒今後20年間に更新予定の公共施設(建物)については、施設の規模、場所、用途、利用実態等を勘案し、統廃合等を検討してまいります。統廃合等においては、縮充といった考え方で、皆さまにより利用して頂けるような魅力的な施設にしていきたいと考えています。</p>

6	<p>(質問・ご意見)</p> <p>職員の給料が他都市よりも高いので、カットを行ってはどうか。また、今以上にどの点で外部に業務委託するのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>芦屋市の給料は全国平均並みです。職員の採用を一時期止めていた時期があり、そこで歪みが出てしまっています。50歳過ぎくらいの職員が少なく、若い時期に課長・係長になるため、トータルで見ると高くなってしまいます。</p> <p>また、外部への業務委託に関しては、法令に基づいた判断等の業務は職員がすべきと考えています。</p>
7	<p>(質問・ご意見)</p> <p>職員の資質向上として、人数が少ないことを意識した取り組みや研修が必要だと考える。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>今年の仕事初めに、目的意識と想像力を持って仕事に取り組むよう職員にお願いしています。</p>
8	<p>(質問・ご意見)</p> <p>審議会の数が多いのではないか。法定でないものは市議員を入れる必要はなく職員も委員になるべきではない。市民委員も色々募集せず市政モニターから抽出しただけでいいのでは。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>委員に職員を入れているのは、実行する職員が理解をするためです。議員も選挙で選ばれた市民の代表ですので、理解していただきたいものに関しては議員の方にもご参加いただきたいと考えています。方法に関しては常に見直していきます。</p>

9	<p>(質問・ご意見)</p> <p>少子高齢化に対して、芦屋市に若者が住みやすい住環境や教育・子育て世帯への独自の補助金が必要ではないか。また、高齢者が住み慣れたところで認知症や寝たきりにならず、介護保険を使いすぎない施策を具体的に実施していただきたい。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>子育て施策では、他市で取り上げられている「〇〇無料」のような施策は考えていません。代わりに、保育園での国基準以上の保育士の配置や保育士さんに向けた補助金、今年から開始した産後ケア事業は専門の医師がいる病院で行い、子育てに不安を抱えているお母さんをサポートする等、質の高い支援をしています。</p> <p>近年のアンケートでは、高齢の方は今までのような静かな芦屋を望まれているようですが、もう少し若い世代の方は賑わいのあるまちを求められているようですので、都市計画マスタープラン等において今後のまちづくりの参考にするとともに、ご高齢の方が住み慣れたまちで過ごしていただけるよう、介護予防事業や地域包括ケアの取組を行ってまいります。</p>
10	<p>(質問・ご意見)</p> <p>市の職員のカウンセリング資質の向上。 (丁寧な対応ができる職員を増やしていただき、穏やかに仕事ができるような職場環境をつくっていただきたい。)</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>しっかりと研修もさせていただきます。芦屋市は今年4月に窓口コンシェルジュ宣言制度をつくり、職員から様々なことを提案ができるような育成をしたいと考えています。しばらくお時間はかかるかもしれませんが、資質の向上を目指してまいります。</p>
11	<p>(質問・ご意見)</p> <p>これからは民間企業との連携による市政を配慮する機会を増やし、AI化、ICT化による安心・安全で利便性の高い楽しいまちづくりをお願いします。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>これからは民間にお願いできるところは民間にお願いし、住民の方にもお願いしたいところはでてくると思いますので、まちづくりは協働で行っていききたいと考えています。ご協力をお願いします。</p>

12	<p>(質問・ご意見) 財政効果 40 億は当市と同規模のデータですか。</p> <p>(市からの説明・回答) 芦屋市に限らず多くの自治体で基金が減少しており、その中で色々な考えがありますが、芦屋市は安定的な財政運営が可能な必要最低限の基金残高を 30 億とし、行財政改革の効果額は 40 億円を目標としました。</p>
13	<p>(質問・ご意見) 人口減少と予算増は反比例すると思いますが、IT やデジタル化だけで実現可能ですか。</p> <p>(市からの説明・回答) IT だけではなく、施設の見直しが必要だと考えています。ハコものだけではなく空間も含めて検討していきます。</p>
14	<p>(質問・ご意見) 指定管理、PFI の活用状況と予定は。兵庫県立海洋体育館（芦屋マリンセンター）のプールを活用して近隣の小中学校のプールを廃止しては。</p> <p>(市からの説明・回答) 市が所有する公共施設の延べ面積の構成比では、学校施設と市営住宅の比率が大きいため、公共施設の最適化におけるウエイトは大きいことから、利用時間が短いプール施設等の最適配置は重要な検討事項であると考えています。</p>
15	<p>(質問・ご意見) 国際化について、行政が国際文化に触れあう機会（市民との）の施策（例：中高校生を対象にした海外留学制度等）や施設の設置してほしい。</p> <p>(市からの説明・回答) 芦屋市はアメリカ合衆国カリフォルニア州モンテベロ市と姉妹都市提携を結んでおり、中学校で夏休みを使った派遣留学を行っています。今年は新型コロナウイルス感染症拡大で実施できておりませんが、今後、ICT 機器を活用したりリモートでの交流も考えられます。</p> <p>国際交流協会では毎年 2 人の高校生を海外に派遣しており、中学校からは 6 人の生徒を海外に派遣しています。中学生は帰国後、小学校への活動報告を行いました。さらに、スピーチコンテストを行うなどの取組を進めてきました。</p>

16	<p>(質問・ご意見)</p> <p>防災におけるコロナ対応。市民の方々と行政が、新しい避難様式に対応できるような設備投資について、市長の考える今後のビジョンとは何か。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>コロナ禍で第一に考えたのが、この状況で震災が起きた場合のことでした。本当は広く市民の方にもご参加いただきたいのですが、密になってはいけないということで、規模を抑えて市民の方と一緒にコロナ禍での防災避難訓練を実施しました。今後、出前講座等で職員が説明させていただくので、ご利用ください。</p>
17	<p>(質問・ご意見)</p> <p>議会の様子をオンタイムで配信するだけでなく、未編集で当日夜以降もネット配信してほしい。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>オンタイムで流れた後、おおむね3日後(土日祝を除く。)に必要な編集を行った映像を配信しております。</p> <p>⇒配信期間は、会議開催日から1年間となっています。</p>
18	<p>(質問・ご意見)</p> <p>市民マナー条例を徹底してほしい。受動喫煙について、兵庫県は今年4月1日から条例に追加している。受動喫煙の罰則のルールを明確にほしい。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>たばこに限らず、犬の散歩や花火、自転車の乗り方も一人一人が気を付けるだけで生活がしやすくなるので、しっかりと啓発を行います。受動喫煙については検討します。</p> <p>⇒受動喫煙については、兵庫県の「受動喫煙の防止等に関する条例」に基づき、条例の周知・啓発を行うとともに、禁煙教育を行うことにより受動喫煙の軽減につながるよう取り組んでいるところです。</p>

19	<p>(質問・ご意見)</p> <p>外国人の生活保護支給は廃止してほしい。(難民認定をされた方以外)1980年代の高裁で違憲となっているため、自治体の裁量となっている。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>国の通知で決められているため、市単独での廃止は難しいです。税金の使い方について色々なご意見があることは認識しています。外国籍のかたの取り扱いは、通知に基づき、行政措置として生活保護規定基準に準じて実施していきます。</p>
20	<p>(質問・ご意見)</p> <p>市議会の簡素化。一般質問が多い。代表質問の回数を増やすのがよいと思う。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>議会運営は議会で決めておりますので、行政側からお答えすることはできません。ご覧いただいていることに感謝申し上げます。</p>
21	<p>(質問・ご意見)</p> <p>芦屋市職員のパワハラについて、パワハラをした職員の処分が軽すぎる。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>皆さまにご心配をおかけしたことに関して、心からお詫び申し上げます。調査委員会を設置し、外部の弁護士にも入っていただき調査を実施しました。結果的にはパワハラに対する認識不足、意識不足と、パワハラを受けた際の相談窓口のシステムの不備があり、この2つに関しては研修の徹底と相談窓口を作ることとしました。相談窓口は外部の専門家をお願いしようと考えています。</p> <p>処分の妥当性に関しては、他市の事例を踏まえて実施しました。世代によってハラスメントに対する意識が異なり、行き過ぎた指導に対する認識を改める必要があると考えています。</p>

22	<p>(質問・ご意見)</p> <p>JR 南の再開発は毎回事業費が高くなって前に進んでいないが、今後どうなっていくのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>事業費の増加は土地の価格高騰と、働き方改革による工期の延長に伴い、その期間に違う場所で生活していただく際の補償費が上がることで、更に全般的な資材と人件費の高騰の3つが上げられます。また、長期財政収支見込も踏まえて議会からご心配をいただき、再開発に関する予算が否決されている状況です。12月議会では予算を削減したものを提出し、ご賛同いただきたいと考えています。事業費を抑える努力はしますが、将来的な芦屋のまちづくりを考えた際にJRは芦屋の核になる場所だと考えています。車と歩行者を分け、バリアフリー化し、北側の渋滞を抑えようとしています。皆さまにもご理解いただき、議員の皆さまにも丁寧に説明をして進めていきます。</p>
23	<p>(質問・ご意見)</p> <p>JR 南再開発にかかる事業費は220億というのが事実か聞きたい。それが本当なら、その1%でも健康や福祉サービスに充てていただきたい。駅前の美しさも大切だが、市民の健康がもっと大切だと思う。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>JR 南再開発については、現在事業費の縮減案を検討中です。 ⇒事業費を抑えつつ、市民の方が安心・安全かつ便利に利用できるまちづくりを行ってまいります。</p>
24	<p>(質問・ご意見)</p> <p>市役所のサービス(住民票、食堂等)で電子マネーを使えるようにしてほしい。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>その方向性でいきたいと考えています。マイナンバーカードをお持ちでしたらコンビニでも住民票の交付をしています。</p>
25	<p>(質問・ご意見)</p> <p>たて割行政の見直し。地域に入った職員の研修について。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>職員の横の連携は進めていきます。 ⇒市民のかたの価値観はますます多様化していくため、職員の対応能力向上に向けた人材育成を進めていきます。</p>

26	<p>(質問・ご意見)</p> <p>特別給付金の入金のお知らせや保険の戻りのお知らせ等の無駄なお知らせが多い。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>無駄なお知らせが多いことに関して、行政側もできるだけスムーズに業務を遂行したいと考えていますので、検討いたします。</p>
27	<p>(質問・ご意見)</p> <p>市外在住職員が多い中、芦屋のためにもっと市民や市内に目を向けてほしい。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>芦屋は市域が狭いので隣接市に住む職員が多く、災害があった際にすぐに駆け付けられる職員はしっかりと確保されています。また、職員は愛着をもって仕事をしています。市外に住んでいる利点として、芦屋に住んでいると芦屋の施策しか分かりませんが、市外に住んでいると自分のまちと芦屋とを比較することができます。</p>
28	<p>(質問・ご意見)</p> <p>芦屋は小さなまち。休日を利用して芦屋市内を見回ってほしい。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>なるべくそのような職員も増やしていきたいと考えています。</p>
29	<p>(質問・ご意見)</p> <p>バス停にベンチが欲しい。阪急のバス停に以前設置されていたものが取り払われていた。市はバス停にベンチを置かない方針なのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>当該箇所で行政側から撤去の依頼はしていません。バス停のベンチは、バス事業者へ設置の要望をしていますが、今後、わがまちベンチプロジェクトの活用を前向きに検討していきます。</p>

30	<p>(質問・ご意見) 芦屋マリーナに「芦屋市」と書かれているクルーザーが2台あるが、市所有のものか。</p> <p>(市からの説明・回答) 所有はしておりません。芦屋マリーナについても企業庁が管理しています。</p>
31	<p>(質問・ご意見) 南芦屋浜の効果的活用などのビジョンはあるのか。</p> <p>(市からの説明・回答) 南芦屋浜は企業庁が開発しており市の所有ではないですが、大きな空き地に関しては少しでも地域のブランドイメージが上がり、誇りが持てる公共性が高いものを、と要望しています。</p>
32	<p>(質問・ご意見) 地域での課題は地元自治会との協働による解決をお願いする。</p> <p>(市からの説明・回答) 地域のことは地域で解決いただくことが一番良いと考えておりますが、時に難しいこともあるかと思いますので、その際は市役所にもご相談いただければと思います。</p>
33	<p>(質問・ご意見) 精神保健指定医の国家資格のない医師の開業、治療は不可としてほしい。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒医療機関の開業の届出・許認可等につきましては、都道府県が所掌されているため、市が関与することができません。何卒、ご理解ください。</p>
34	<p>(質問・ご意見) 土葬を公私ともにいかなる場所でも禁止にしてほしい。</p> <p>(市からの説明・回答) ご意見として伺います。</p>

35	<p>(質問・ご意見) 学力（教育）の向上を期待しますが、施策はありますか。</p> <p>(市からの説明・回答) ICT 機器を有効的に活用し、児童生徒の深い学びや理解につなげていきます。</p>
36	<p>(質問・ご意見) 市長が考える芦屋とは。</p> <p>(市からの説明・回答) 現在策定中の次期総合計画では、「ASHIYA SMILE BASE」をキャッチフレーズにし、芦屋が家族のようにお互いに思いやり、助け合い、笑顔になって進めるまちをつくっていきたいと考えています。</p>
37	<p>(質問・ご意見) マイナンバーカードはやめてほしい。テレビでは良い面しか報道されず、悪い面を言ってもらえない。正式書類には個人番号と書いているが、何故横文字の「マイナンバー」なのか。日本語にしてほしい。</p> <p>(市からの説明・回答) カードを持つことは選択性なので、選択していただければと思います。 ⇒「マイナンバーカード」は国が使用する通称名で、法令上では「個人番号カード」です。</p>